

ネイチャーセンターだより



yuki

コミミズク

Short-eared Owl

コミミズクはフクロウの仲間で、ロシアなど北の地方で繁殖し、日本へは冬鳥としてやって来ます。

フクロウというと、夜行性で観察が難しい種類が多いのですが、このコミミズクは夕方や曇天の日など、明るい時でも活動するので、観察しやすいフクロウです。

草原で主にネズミを狙って飛び回る姿や、杭や電柱の上に止まっている姿などを目にします。

年によって渡来数に変動がありますが、今シーズンはどうでしょうか。

フクロウ類をまだ見たことが無いという方は、是非探して見てください。(Y)

11 & 12 月のイベント

風蓮湖の魅力を探る



バスツアー

日時 11月13日(日)
9:00~15:30

対象：中学生以上
定員：30名
申込：前日(11/12)まで
概要：風蓮湖をレンジャーと一緒に一周するバスツアー。根室市内からわずか20kmの距離にありながら、豊かな自然の広がる風蓮湖の見所を1日かけてご案内します。



春国岱・風蓮湖で



鳥を見よう!

日時 11月20日(日)
9:00~12:00

対象：どなたでも
(小学生以下保護者同伴)
定員：30名
申込：3日前(11/17)まで
概要：風蓮湖・春国岱は多くの渡り鳥達の国際空港。北の国から訪れた、秋の渡り鳥達を観察します。春とこの時期にしか見られないオオハクチョウやカモの群れを見つけよう!また、この地で採れた自然の味覚も楽しめます。

春国岱の



森を訪ねるツアー

日時 11月27日(日)
9:00~12:00

対象：4km以上歩ける方
(小学生以下保護者同伴)
定員：30名
申込：11/23まで
概要：アカエゾマツ・トドマツの森の中は、苔に覆われる神秘的な場所。その森を目指し、草原、湿地、立ち枯れの林を通り抜けて歩く4kmのツアーです。水鳥の楽園であるとともに、神秘的な森を有する春国岱。森を訪れたことがない方など、是非ご参加ください。

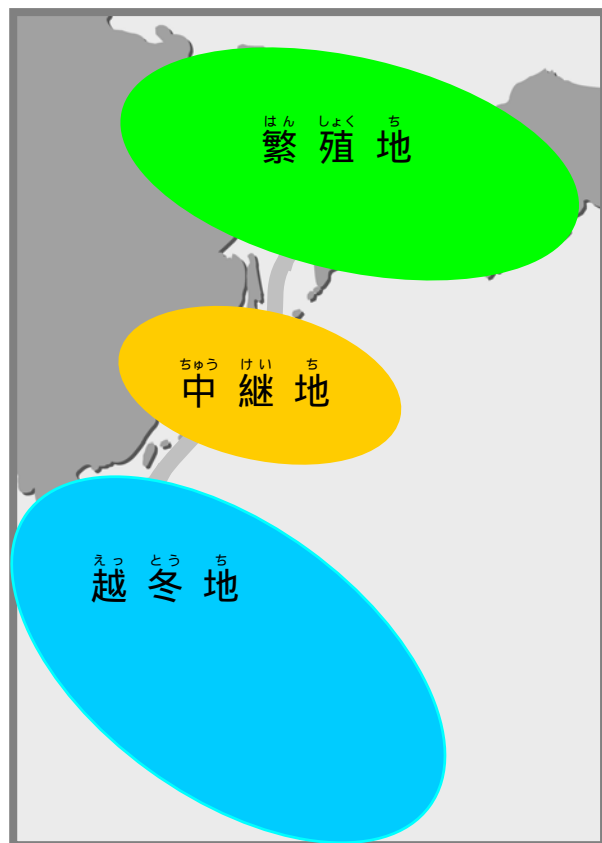
<お申込み・お問合せ先：ネイチャーセンター>

TEL 0153 - 25 - 3047

ラムサール条約 を知ろう! (第5回)

Q5 . 水鳥の中で世界を行き来する「渡り鳥」はどの仲間?

A5 . 先月号の正解は、 番でした。



シギ・チドリ類の渡りのイメージ図

風蓮湖にやってくる野鳥の多くは、『渡り鳥』です。代表的な渡り鳥は、



・オオハクチョウ、カモの仲間

10月の中ごろになると、シベリアで子育てを終え、日本で冬を過ごすためやってきます。風蓮湖が凍り始めると同時に、本州方面へむけて移動をはじめます。

・シギ・チドリの仲間

春と夏に多く見られ、長い渡りをするものでは、片道約1万2千kmにもなります。渡りの途中にある日本の干潟や湿地では、休んだり、餌を食べて、残りの渡りの準備をしています。

・オオワシ

11月ごろ大陸からやってきて、冬を風蓮湖で過ごします。2月ごろには、結氷した湖で漁をする漁師さんのおこぼれをもらいに、多い日では700羽くらい観察できます。



『渡り鳥』は、子育ての場所、冬を過ごす場所、途中で休んだり栄養補給する場所、すべてがないと生きていけません。そのために世界の国々が協力して、未来にわたって干潟や湿地を、渡り鳥や人間がうまく大切に使い、守っていこうという約束の『ラムサール条約』に参加して、渡り鳥のくる湿地を守るとりくみをしています。

祝 風蓮湖・春国岱 ラムサール条約湿地登録 11月8日に決定!!

11月8日～15日にウガンダで開催されるラムサール条約第9回締約国会議において、風蓮湖・春国岱をはじめ新たに国内20箇所の湿地が、ラムサール条約に基づく国際的に重要な湿地に係る登録簿に掲載され、ラムサール条約湿地の仲間入りをします。11月10日には事務局から関係自治体に対し登録認定証が授与されます。

それにともない、根室市、別海町、標津町では、

「野付半島・野付湾」「風蓮湖・春国岱」ラムサール条約湿地登録記念式典を開催します。

開催日時：2005年11月20日(日) 14時30分～16時

開催場所：北方四島交流センター「二ホロ」2階

内容：登録認定書授与式、登録湿地「ロゴマーク」発表および記念品贈呈

「ラムサール条約 第9回締約国会議」参加報告

基調講演 「ラムサール条約湿地登録を記念して」

サブタイトル 国際的に重要な湿地と「ワイズユース」を学び

この地域の自然環境保全と地域振興について考える。

講演者 中村 玲子 氏 (ラムサールセンター事務局長)

自然情報

～ 11 & 12 月にこんな見られます～



11・12月には寒くなり、湖も氷始めます。寒い中でも冬鳥達が元気に暮らしています。暖かい格好をして春国岱・自然学習林へ、いろいろな種類の鳥や動物を探しにでかけよう！



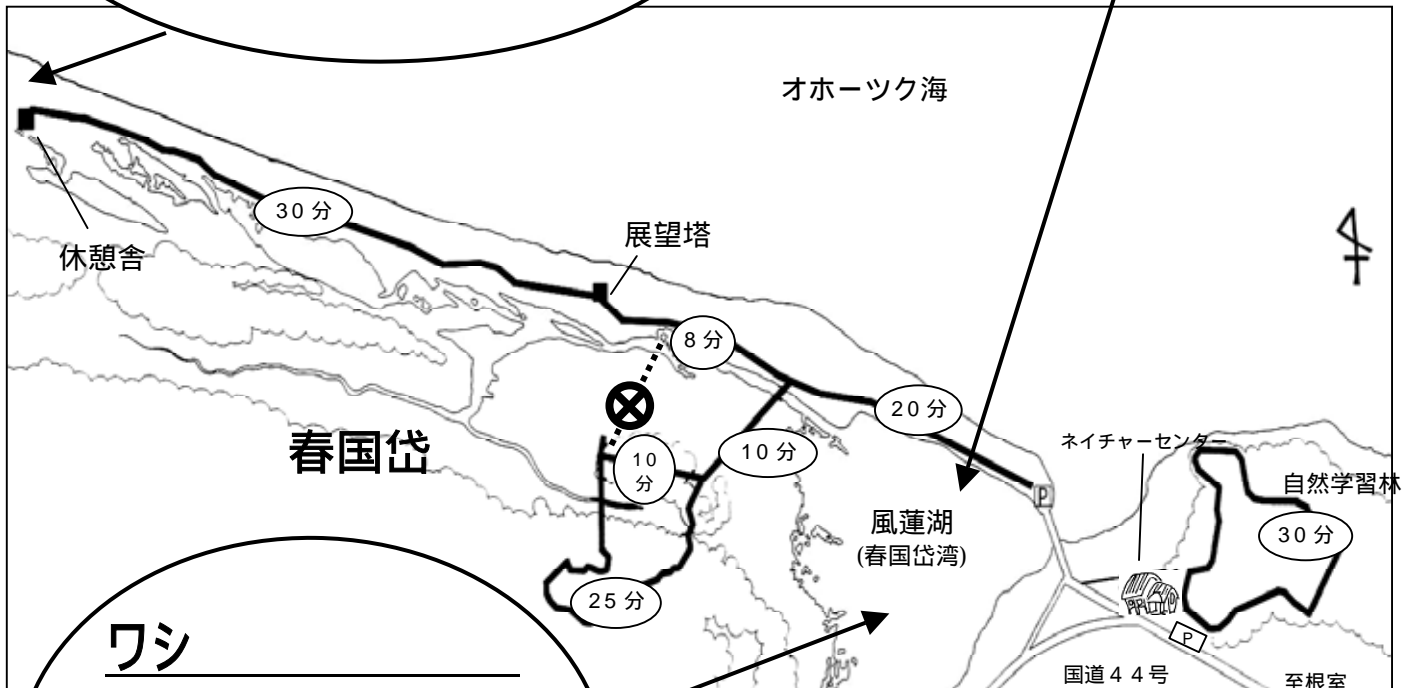
ユキホオジロ

白くて可愛い「雪原の天使」がツンドラからやって来ます。春国岱先端付近でハマニンニクの種を食べて冬を過ごします。先端までは8 kmあるので、十分な装備の上、歩いてみてください。



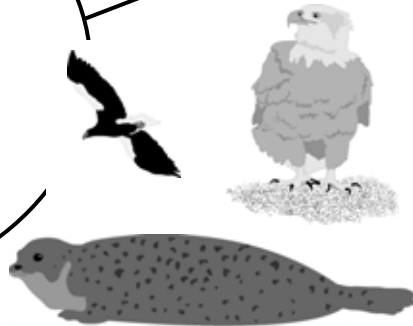
ハマシギ

シギの仲間は、ほとんどが旅鳥で、春と秋に春国岱を通過していくものが多いのですが、ハマシギは越冬のためにやってきます。見ているとこちらが凍りつきそうになりますが、水辺で頑張っています。



ワシ

オオワシやオジロワシが北からやって来て(オジロワシの一部は一年中いて繁殖もしています)風蓮湖周辺で姿がよく見られるようになります。2月に最も数が多くなります。ワシ達の勇壮な姿を探してみてください。



アザラシ

風蓮湖近海や走古丹の先端付近で、アザラシを見かけるようになります。海面から頭だけ出していると、漁業に使うウキのようです。また、風蓮湖の氷が海へ流れ出す頃になると、その氷の上に乗っていることもあります。

お知らせ

9月25日に春国岱の観察路でヒグマが目撃されました。その後確認されておりませんが、クマとの遭遇を避けるため、観察路を歩く際は鈴や携帯ラジオを身につけたり、複数人で歩くなどの対策を心がけてください。積雪や凍結により滑りやすい場所があります。足元に気をつけて歩いてください。





春国岱

10月29日に、春国岱の森林の移り変わりを調べる調査に同行した。過去に1982年と1990年、1999年に行われており、決められた区画の中の木がどう変化したのかを調べる調査だった。この日は、木道からさらに奥の日頃入ることのない第3砂丘の森に入った。調査は、区画内の木の高さ、太さ、葉の広がりなどを調べた。過去と比べ、生長しているものや、枯れているもの、倒れて朽ちているものなど、短い時間軸では感じることでできない自然の営みの一瞬を見られた気がした。

この森は、ほとんど手がつけられていないと思っていたが、調査員の方から、数十年前まで、番屋や井戸があったことや、槍昔や走古丹から船で渡ってきて東梅にぬける街道だったことを教えられた。確かに、数メートルの幅で木がなく道らしきものが続いていた。しかし、必要以上に荒らされることなく、人と自然がうまくかかわりあっていたことが感じられ、とてもすがすがしく充実した1日だった。(S)

ボランティアグループ「スंक」のご案内

「スंक」はネイチャーセンターの活動を支援、発展させるボランティアグループ。老若男女、様々な方々が活動しています。現在、以下のプロジェクトが進行中です！ご興味ある方は、ネイチャーセンターまで、ご連絡ください！！

「スंक」のプロジェクト

- | | |
|------------------|-------------------|
| 樹名板・オブジェ補修プロジェクト | 紙芝居プロジェクト |
| エゾシカ食害調査プロジェクト | 広報プロジェクト |
| 春国岱ガイドウォークプロジェクト | ネイチャーセンター祭りプロジェクト |
- など



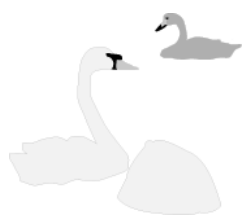
メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。(郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。)

連絡先：nemu_nc@marimo.or.jp

まちがいさがし

上と下の絵には、違う場所が3ヶ所あります。どこでしょう？



団体向けプログラムのご案内



- 野外解説 (1~2時間 / 10~20名)
- 自然のお話 (25分 / 10~45名)
- 自然のクイズラリー (1時間 / 10~50名)
- タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム (0.5~2時間 / 10~20名)

申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等に限定させていただきます。

春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
 TEL0153-25-3047 FAX0153-25-8570
 HP http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html
 メール nemu_nc@marimo.or.jp

開館時間 11・12月 9:00~16:30
 ▼ 11月の休館日 2・4・9・16・24・25・30日
 ▼ 12月の休館日 7・14・21・26・28・30・31日

2005.10 発行